

小児慢性特定疾病指定医 各位

尼崎市

### 成長ホルモン治療の新規申請について（依頼）

平素より、本市保健行政にご尽力賜わり、厚くお礼申しあげます。

さて、成長ホルモン分泌不全性低身長症及び下垂体機能低下症の方で、成長ホルモン治療を新規申請される際は、GH分泌刺激試験の検査データのコピーの添付にご協力をいただいているところでございます。

このたび、尼崎市小児慢性特定疾病審査会の意見を受け、GH分泌刺激試験について、インスリン負荷試験を採用される場合は、血糖値の検査データ添付もお願いすることとなりました。

なお、データの添付が困難な場合は、本通知の裏面に記入欄を用意しておりますので、ご活用ください。

指定医の先生方にはお忙しい中、大変お手数をおかけいたしますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### ～尼崎市小児慢性特定疾病審査会より～

本審査会では、事業の認定基準だけでなく、小児慢性特定疾病情報センターの診断の手引きを参考に、疾病の診断基準についても確認をさせていただいております。

審査事例において、成長ホルモンの分泌が極めて低い事例が散見されたため、インスリン負荷試験を採用された場合は、血糖値の検査データの提供につきましても、ご協力をお願いいたします。

以 上

#### 〈お問い合わせ先〉

尼崎市七松町1丁目3番1-502号  
尼崎市保健所 疾病対策課  
電話 : 06-4869-3053  
FAX : 06-4869-3049

インスリン負荷試験 血糖値データ記入欄

患児名		
生年月日	平成 年 月 日	
血糖値 データ	前値	mg/dl
	15分値	mg/dl
	30分値	mg/dl
	60分値	mg/dl
	90分値	mg/dl
	120分値	mg/dl
備考欄		
<p style="text-align: center;">医療機関所在地</p> <p style="text-align: center;">名 称 <span style="float: right;">科</span></p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">医師氏名 <span style="float: right;">印</span></p>		

## 成長ホルモン分泌不全性低身長症\*の申請について

(\*脳の器質的原因によるものを除く)

GH 分泌刺激試験（2種類のうちいずれか、もしくは両方）の結果によって、重症の分泌不全の可能性が示唆される（註1）場合は、「脳の器質的原因」「下垂体前葉疾患」を除外するため、下記の結果を併せて提出してください。

- ① 頭部 MRI 検査（脳下垂体部を含む）の読影所見（放射線科医による）
- ② GH 以外の下垂体前葉ホルモン（TSH、LH、FSH、コルチゾール、PRL）の分泌に関する検査（インスリン+LH-RH+TRH または CRH+LH-RH+TRH の三者負荷試験）

註1. GH 分泌負荷試験を行って、「重症成長ホルモン分泌不全性低身長症」と診断されるのは、分泌刺激試験における GH 頂値が 3ng/ml 以下（GHRP-2 負荷試験では 10ng/ml 以下）の場合を指します。通常は2種以上の負荷試験を行いますので、それがすべて 3ng/ml 以下の場合に重症と判断されます。

今回の通知は「重症の診断」をするのが目的ではなく、重症の可能性が示唆される場合には、器質的疾患の見逃しを防ぐために、除外診断目的の検査を採り入れた、のが理由です。1種類でも GH 頂値が 3ng/ml 以下という検査結果があれば、GH 分泌に異常をきたす疾患の存在を否定する必要があると考えています。

註2. 「インスリン+LH-RH+TRH 負荷試験」：インスリン負荷による低血糖のリスクはありますが、負荷試験の回数を減らすためにこちらを選択する施設もあります。

「CRH+LH-RH+TRH 負荷試験」：インスリン負荷による低血糖を懸念する場合には、コルチゾールの分泌能を評価するために CRH が用いられます。この際には GH 分泌負荷試験として、インスリン以外の負荷試験（アルギニン、L-dopa、GHRP-2 など）が2種以上必要になります。

註3. 頭部 MRI 検査の読影所見は原則として放射線科医によるものとしますが、脳神経外科医、脳神経内科医が読影をしているという検査実施機関の場合には、その読影所見を提出してください。